

神奈川県立海洋科学高等学校 漁師の仕事! 知る授業

12月22日、神奈川県立海洋科学高等学校実習棟2階教室で、漁業ガイダンスの「漁師の仕事!知る授業」が開催され、神奈川県立海洋科学高等学校の本科1年生9人と本科2年生6人の計15人が出席した。

この漁業ガイダンスは一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターが中心となり開催しているもので、今回のガイダンスは海員組合のほか、住吉漁業株式会社、大洋エーアンドエフ株式会社、株式会社長久丸、共和水産株式会社、勝倉漁業株式会社、株式会社勝栄丸、飯古建設有限会社などが参加した。

漁業ガイダンスの開始にあたり、一般社団法人全国漁業就業者確保育成センターの北井楓係長から、本ガイダンスの進め方について説明があった後、全日本海員組合三崎支部の錦織康一次長が「各社からの説明を受けて漁船漁業の魅力を知っていただき、将来就職する際の職業の選択肢として参考にさせていただきたい」とあいさつした。

ガイダンスは7社で5ブースを設置、各ブースで担当者からは、会社の概要をはじめ、漁業の種類や漁法を中心に漁船漁業の魅力について説明が行われた。

海外まき網漁業のブースでは、投入した漁網で魚群を巻き込む映像などパソコンを使用した動画で、生徒たちの注目を集めた。

遠洋かつお一本釣り漁業のブースでは、本校の卒業生でもある漁労長が出席し、生徒たちに乗船中の体験談を説明するとともに、漁獲に使用している疑似餌を展示し、生徒が疑似餌を手に持ち興味を示している姿が見受けられた。

遠洋まぐろはえ縄漁業のブースでは、漁法をはじめ乗船期間や船内生活などの説明がなされ、最近乗組員構成が若返ってきていることなど、遠洋漁船の魅力が伝わった。

各ブースでは、漁船員になるための必要な海技免状などの質問もあり、担当者が説明した。最後に事務局から、漁業就業支援フェアの案内があり、ガイダンスを終えた。

「海員だより」